

第1回あすなろ部会でまとめた「検討の方向性①～⑦」については、職員・利用者との意見交換を踏まえ、以下のとおりとします。

検討の方向性	対応	具体的な内容
①長寿命化調査の結果を踏まえた施設の改修・建替	- 他県の施設等を参考にしながら、障がい児者やその家族等が利用しやすい施設となるよう検討を進めていく。 - 整備費用比較調査を実施し、整備方法（長寿命化改修、建替）について検討する。	- 他県施設の視察等を踏まえ、全ての利用者が円滑にかつ安全安心に利用でき、職員の動線等が考慮された働きやすい施設とする。 - 調査結果後に開催するあすなろ部会において、整備方法を提案する。建替の場合は用地選定を進める。
②整形外科の手術機能の県立中央病院への移転	センターの手術機能維持にはかなりの経費がかかることを踏まえ、手術機能を県立中央病院へ移転することとして、病院局と協議していく。	病院局と協議を行い、改修又は建替後に、手術機能に移転する。手術設備故障等により前倒しになる可能性あり。
③小児科を含めた診療科の内容及び診療日数等	- 現在の診療科は維持する。 - 小児科については、現在の診療体制を維持するための医師を確保するとともに、今後の診療需要や医療型短期入所等での医療的ケア児受入状況を踏まえて常勤医確保について検討する。 - その他の診療科（児童精神科、耳鼻咽喉科、眼科、内科）の新設については、他の医療機関との連携を前提とし、診療需要と収支予測を踏まえて検討する。 - 有床診療所の病床数について、診療需要と収支予測を踏まえて検討する。 ※赤字は第2回全体会資料から修正した箇所	【小児科】 - 小児科医がいるあすなろに対して、医療的ケア児受入の要望が多い。 - 小児科医の確保やその診療日数については、弘前大学小児科学講座と協議していく。 【その他の診療科】 - あすなろにない診療科はあすなろで医療機関と連携し、その医療機関（眼科等）を紹介してくればよいとの意見あり。 - あすなろは肢体不自由児者や医療的ケア児者に特化した方がよいとの意見あり。 - 入所利用関係者からは、内科医に日中いてほしいとの意見あり。 - 入院病棟の必要性は低いとの意見あり。 - 診療需要と収支予測を踏まえ、診療科の新設や有床診療所の病床数の方向性は、次回あすなろ部会に提案する。

検討の方向性	対応	具体的な内容
④小児在宅支援センターとの連携	小児在宅支援センターと連携し、医療的ケア児の診療等に適切に対応する。	小児在宅支援センターとの連携を継続していく。
⑤歯科の診療日数の増加等	- 歯科の診療日数はR7年度から週3日とした。 - 歯科衛生士の人材育成・教育はR7.3から実施している。 - 歯科診察室の環境改善について検討する。	- 歯科の需要は多く、診療日数が増えたことへの感謝の意見あり。 - 歯科の診療日数については、県歯科医師会と協議していく。
⑥障がい福祉サービスの拡充	医療型短期入所における受入れできる利用定員をR7年度から3名に増員し、R7.7から短期入所サービスを活用した入浴支援を実施している。利用児童の範囲の拡大については引き続き検討する。	- 医療型短期入所は使い勝手が悪いとの意見あり。 - 入所については、受入範囲・年齢等の明確化を求める意見や他科受診が負担との意見あり。 - 放デイや児童発達支援についても、受入基準の明確化を求める意見あり。 - 日中一時支援を求める意見あり。 - 医療的ケア児者に対する積極的な対応を望む意見あり。 - サービス需要と収支予測を踏まえ、入所定員、短期入所定員、通所サービス定員の見直しを行い、次回あすなろ部会に提案する。 - 改善できる事項は随時改善していく。
⑦障がい福祉サービスの利用児者数増加のための取組	- 利用希望の見学者を積極的に受け入れるとともに、親子体験の改善や相談支援事業所との連携などにより、障がい福祉サービスの利用児者を増やしていく。 - 児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護における送迎について検討する。	- 生活介護の送迎と日中活動を求める意見あり。 - 放課後等デイサービスの送迎を求める意見あり。 - 空き状況の周知や他機関との連携を求める意見あり。 - サービス需要と収支予測を踏まえ、通所サービスの送迎を検討し、次回あすなろ部会に提案する。

【追加検討事項】

項目	現状と課題	検討の方向性
地域連携室の設置	- 他の医療機関・施設へつなぐ機能がない。 「地域連携室」のような機能を有してほしい。 「いざという時のあすなろ」としての機能が期待されている。	MSWを配置した相談や情報調整、制度説明等を行う「地域連携室」の設置について、次回あすなろ部会までに検討する。
人材育成・職員の意識改革	- 他施設の運営等を知り、知見をアップデートすべき。 - あすなろに求められているニーズを把握していない。	- 専門職員の人材育成について、次回あすなろ部会までに検討する。 - あすなろの果たす役割の明確化に向けて次回あすなろ部会までに検討する。
外部委託	児童発達支援・放課後等デイサービスなど一部機能を民間等に委託することを検討すべき。	一部機能を外部委託できないか、次回あすなろ部会までに検討する。